



米国食肉輸出連合会は、日米の食肉業界の飛躍に貢献できるよう努力しております。

Trader's Be&Po

米国食肉輸出連合会 (USMEF) <http://www.americanmeat.jp>

Volume 002 April 12, 2004

Trader's Be&Poはメールでもお届けします。ご希望の方は、下記にご記入の上、FAX返送してください。

お名前 様 メールアドレス @

FAX番号 03-5542-2912

「Trader's Be&Po」はインターネットでもご覧いただけます。
ご希望の方は、下記URLからダウンロードしてください。
<http://www.americanmeat.jp/publications/tnf.html>

★「Be&Po」とは、Beef(牛肉)とPork(豚肉)を合わせた言葉で、アメリカン・ミートがもたらす豊かな食の世界を表現しています。

BSE関連ニュース

●USDA、2社のBSE迅速テストを承認

米国農務省(USDA)は、新しいBSEサーベイランス・プログラムの一環である検査増強に対応するため、アイデックス社(メイン州)とバイオ・ラッド社(カリフォルニア州)のBSE迅速テスト製品を承認した。また同省は、今年の検査対象を、前年の2万頭、当初予定の4万頭から、目標として約27万頭に拡大すると発表した。

アイデックス社のHerdChek[®] BSE抗原テストキットは、BSEの原因とされる異常プリオンを検出するもので、以前同社が承認を受けた動物の慢性消耗病用テストキットと同じSeprion技術が使われている。このテストキットは、承認を受けるためEUにも提出されている。

バイオ・ラッド社の迅速TeSeE[®] テストは、伝達性海綿状脳症(TSE)の検出に使われる代表的なテストで、既に2,200万件のBSEテストのために、ヨーロッパと日本の研究所に供給されている。このテストは、BSEに関係する抵抗性プリオン蛋白質(PrPres)の存在を検出するもので、極めて弱いレベルでもプリオンを特定することができる。

※2004年3月23日 NAMP Newsfax

●USDA、BSEサンプル分析に7検査施設を認定

3月29日、USDAは、BSEサーベイランス・プログラム支援のため、新たに7つの検査施設を認定した。(カリフォルニア州、コロラド州、テキサス州、ウィスコンシン州、ワシントン州、ジョージア州、ニューヨーク州)一定の基準を満たした他の施設も、今後、検査施設として認定される可能性がある。

これらの検査施設は、動植物衛生検疫局(APHIS)の動物疾病検査を支援するネットワークの一部として、上記のBSE迅速テストを行う。

USDAは、3月15日、同プログラムの強化を発表した。これには、国際専門家委員会とハーバード危機管理センターの勧告が組み込まれている。例えば約26万8,000頭を検査すれば、99%の信頼度で、成牛1,000万頭当たり陽性1頭の割合でBSEの検出が可能。つまり、米国全域で陽性が5頭のみでも、BSEを検出できることになる。

※2004年3月29日 農務省・動植物衛生検疫局プレスリリース



BSE関連ニュース

●USDA、BSEに関する報告書を75カ国に送付

3月26日、USDAは、BSEに関する調査結果や対応策をまとめた報告書を、同省主任獣医師デーハイブンの書簡と共に、日本を含む75カ国の関係機関に送付した。

同医師の書簡には、次の4つの報告書が同封されている。

1. 米国におけるBSEの経緯と疫学的調査の詳細
2. 国際専門家委員会の所見と勧告
同委員会は、米国が行った疫学的調査の内容を認め、国際基準を満たしていると結論づけている。
3. 同委員会の報告に応じて米国が講じた措置
特に、次の4つに焦点を当てている。
 - (1)食物や反芻動物の飼料への特定部位混入の防止
 - (2)BSEサーベイランス・システムの増強
 - (3)全国個体識別システムによるトレーサビリティの向上
 - (4)教育的取り組みの強化
4. USDAにより増強されたサーベイランス・プランの内容

また同医師の書簡では、食品・医薬品局 (FDA) が、現在の禁止飼料に変更を加える最終規則案を公表するとしている。FDAは、反芻動物の飼料に血液製品や食料残渣の使用を認める免除条項を廃止し、反芻動物の飼料への家禽の飼料残渣の使用も禁止する。

※2004年3月26日 農務省・動植物衛生検疫局プレスリリース

米国食肉市場ニュース

～牛肉～

牛肉市況(3月22日～26日)

●週間と畜頭数：62万頭(前年比0.8%減)。

●肥育牛の取引価格(100ポンド[約45kg]当たり)：主要5市場では、平均82.89ドル(前週比4.99ドル安)。枝肉価格は平均132.50ドル(前週比7.40ドル安)。中西部の直接取引は79～85ドル(平均82.95ドル)。ハイプレーンズでは80～83.50ドル(平均82.50ドル)。

●牛肉価格(26日正午100ポンド[約45kg]当たり)：前週より低め。歩留まり等級2～3(YG2～3)のチョイスは138.93ドル(前週比4.29ドル安)。YG2～3のセレクトは125.99ドル(前週比6.21ドル安)。

●肥育牛の重量(2月)：前年同期に比べかなり軽め。前年比の頭数は、600ポンド以下で約23%増だが、600～699ポンドで5.4%減、700～799ポンドで7.6%減、800ポンド以上で8%減。

オクラホマシティーにおける去勢素牛の体重別、100ポンド(約45kg)当たりの価格(US\$)

体重(ポンド)	3月22～26日
400～500	116～131.50
500～600	106.50～119.50
600～700	95.50～110.50
700～800	90～100
800～1000	81～90

※2004年3月26日 Cattle Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

主要12州¹のフィードロット内頭数²、前年比4%増(2004年3月1日現在) 注:

	2004年 ³	対前年
2月1日現在フィードロット内頭数 ⁴	10,818	104%
2月導入頭数	1,562	99%
2月出荷頭数	1,647	99%
2月のその他の消失 ⁵	66	97%
3月1日現在フィードロット内頭数 ⁴	10,667	104%

1. アリゾナ、カリフォルニア、コロラド、アイダホ、アイオワ、カンザス、ネブラスカ、ニューメキシコ、オクラホマ、サウスダコタ、テキサス、ワシントン
2. 収容頭数1000頭以上。
3. 単位:1000頭。
4. 穀類あるいは他の濃縮飼料を主食とし、セレクト以上として肥育される、と畜用の牛、子牛。
5. 死亡、放牧場への移動、他のフィードロットへの移動など。

※2004年3月19日 USDA's Cattle on Feed



米国食肉市場ニュース

～ 豚肉 ～

豚肉市況 (3月22日～26日)

●週間と畜頭数：192万1千頭 (前年比0.5%増)。

●成豚の現金取引価格：今週は春の反騰相場にもかかわらず、やや上げ渋った。主要市場の価格は、前週比1ドル安で安定。

※2004年3月26日 Hog Outlook Glenn Grimes & Ron Plain

主要市場における100ポンド (約45kg) 当たりの最高価格 (US\$) 185ポンド物 (約83.5kg) の枝肉平均価格 (US\$)

	3月26日		3月26日
ペオリア	44.00	東部トウモロコシ地帯	66.51
セントポール	46.50	西部トウモロコシ地帯	64.78
スーフォールズ	47.00	アイオワ・ミネソタ	64.72
ミズーリ中央部	46.50	全国	65.36

100ポンド (約45kg) 当たりの豚肉製品価格 (3月26日/US\$)

製品名	価格 (前週比増減)	備考
ロイン	108.00 (-7.00)	トリム1/4インチ
ポストン・バット	83.50 (+6.50)	
ポークベリー	110.00 (前週値なし)	14～16ポンド物 (約6.3～7.3kg)
ハム	53.00 (-2.00)	17～20ポンド物 (約7.7～9.1kg)

※2004年3月26日 Hog Outlook Glenn Grimes & Ron Plain

業界ニュース

●米国内の豚肉価格、BSEと鳥インフルエンザによる禁輸で上昇

パーデュー大学の経済学者クリス・ハート氏によると、最近の米国内の豚肉製品の値上がりは、BSEによる牛肉の厳しい輸出規制と、鳥インフルエンザによる鶏肉の輸出削減による。

第一4半期の豚肉生産量は、前年に比べ2%増えているが、同氏によれば、価格は、驚くべきことに25%も上昇しており、今年の需要がかなり良好になることは明らか。しかし同氏は、市場はピークに達したとも考えている。

一方、豚肉価格を押し上げている要因の一つはアトキンズ・ダイエットの流行による、米国内の需要増加とするアナリストもいる。

3月、シカゴ商品取引所でのポークベリーの先物取引価格は、1ポンド当たり1.10ドルで、同市場最高価格を記録した。先物市場は上昇傾向にあると予測するアナリストもいる。

しかしハート氏は、子豚の生産について、生産業者がこの春は1%減、夏は2%減と示していることから、豚肉供給は、今年後半から来年初めにかけて徐々に下降するだろうと述べている。だが、カナダの供給量が現状のままならば、豚肉生産量全体が減少することはないだろう。

※2004年3月23日 NAMP Newsfax

イベント情報

●ツインリンクもてぎに「アメリカン・ポーク・ビレッジ」をオープン

「ツインリンクもてぎ」で2004年4月15日 (木) から4月17日 (土) まで行われる「BRIDGESTONE INDY JAPAN 300mile」の開催に合わせて、17日の決勝に「American Pork Village」をオープンします。同ビレッジでは、アメリカン・ポークの特長を楽しみながらお分かりいただけるビンゴゲームや、アメリカン・ポークのクッキングライブおよび試食会などを行い、アメリカン・ポークの魅力をお伝えいたしますので、ご来場の際は是非お立ち寄り下さい。

■ブース出展場所：ツインリンクもてぎ 中央エントランス付近

■ブース出展期間：2004年4月17日 (土) ※雨天の場合18日

■米国食肉輸出連合会ブース名：「American Pork Village」

●第28回「野毛大道芸inみなとみらい21」にアメリカン・ポークスタンドを出店

2004年4月17日 (土)・18日 (日) に横浜市で行われる大道芸のイベント「野毛大道芸inみなとみらい21」に、アメリカン・ポークスタンドを設置して、「ウルフギャング・バック バー&グリル」の内山シェフによる料理実演や試食会を行いますので、是非お立ち寄り下さい。

■会場：みなとみらい21地区内「クイーンズパーク」

米国食肉輸出連合会 (USMEF) のホームページでは、アメリカンミートの最新情報、

安全性に関する情報、セールスのヒントなどを発信中! ぜひご利用ください。

<http://www.americanmeat.jp>